

てこれも吞舟魚だけの泣面で、皆の地主さんたちに首吊りをしろと云ふんぢやない、凡て氣前の好い日本人式にやろうてんだ。

四、耕作地の土地處分

次ぎは日本全國の最大多數の死活にかゝる御百姓様の土地分配問題だ。何と言つたつて大日本帝國は百姓が本家本元だと云ふことを忘れてはならぬ。百姓は國の基本だ。いざ戦争となれば尙更のこと、御百姓様に限る、都會や鑛山にゐる勞働者だつて、百姓のなれの果てとないものが幾人あるか。先

祖代々の土地は少しばかりの借金から利が利を生んでおぢ取られる。小作人では自分で作つた米も喰へない、せいゝ南東京米や東京米で命をつなぐのが上の都といふ慘さだ。兵隊にとられて漢語の一つも使ふやうになれば、水ばかりガブ〜呑む水呑百姓ではひき合はぬ。まゝよ東京へ出ると来る。つまり、都會へ出るのは地方では干上るからだ、俺等の學校友達でも兵隊仲間でも田舎ぢや實に御話しにならぬ。水呑まず百姓といつてやり度いザマだ。どうしたら日本國民が一通りの平等と安樂、自由を得るやうになれるか、これに對しては耕作地分有制と云ふものを行ふより外に道がない。